

JAPDT

特定非営利活動法人 日本ペットドッグトレーナーズ協会 (JAPDT)

ペットドッグパートナーズ試験

実技試験 概要



ペットドッグパートナーズ試験 実技試験項目

① 装着する

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
飼い主が首輪を着脱する。	飼い主がエリザベスカラーを着脱する。	他人が首輪を着脱する。	Tシャツ着せる・脱がせる。 (袖なしのシャツ)	服を着せて試験に臨む。 (犬の動きを制限しない) (抜け毛防止の対処)

② 体を触わる（飼い主や他の人）：健康管理、保定などの練習

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
飼い主が、耳、マズル、目の周り、首回り、足先、尻尾、肛門周囲、お腹に手をあてて、それぞれ3秒間触り続ける。	飼い主が、目の周り、口腔内、耳、足裏（四肢）、お尻周り、お腹の健康管理を行う。	飼い主が保定し、飼い主以外の人、マズル、目の周り、首回り、足先、尻尾、肛門周囲、お腹に手をあてて、それぞれ3秒間触り続ける。	飼い主が保定し、飼い主以外の人、目の周り、口腔内、耳、足裏（四肢）、お尻周り、お腹の健康管理を行う。	飼い主が以外の人、飼い主以外の人、目の周り、口腔内、耳、足先、尻尾、お腹の健康管理を行う。

③ 呼び戻す

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
コート A 地点から、飼い主がリードを持って、5m後ろに下がりながら犬を呼び、飼い主についてきて5m地点で首輪をつかむ。	コート A 地点で、飼い主以外の人、リードまたは首輪を持って犬を待たせる。飼い主は5m後ろに下がってから、ジャッジの指示で犬を呼び、飼い主の元まで来たら、正面もしくは横に座らせてから首輪をつかむ。	他人がリードをもって、5m離れた場所から呼んで、飼い主のところまで来たら正面もしくは横についた状態で座ってから首輪をつかむ。 (2m 右に食べ物、4m 左におもちゃを置く)	座らせて待たせ、5m離れた場所から呼んで、飼い主のところまで来たら正面もしくは横についた状態で座ってから首輪をつかむ。2m、4mの地点に刺激物を置く。(当日決定)	座らせて待たせ、飼い主は背を向けながら10m以上離れ、ノーリードで呼び戻す。正面もしくは横についた状態で座ってから首輪をつかむ。

④ 姿勢を変える（座る、伏せる、立つ）

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
コート A 地点で、正面向かい 合わせで犬を座らせた状態で、 「伏せる→座る→立つ→伏せ る→立つ→座る」 ※コマンドは、声符、指符どれ でも良い。	コート A 地点で、正面向かい 合わせた状態で、 「座る→伏せる→座る→立つ →伏せる→立つ→座る」 ※指示の順番はジャッジが当 日決める。 ※コマンドは声符だけ。	Heel もしくは side ポジショ ンで、座る→伏せる→座る→立つ →伏せる→立つ→座る ※始める順番は当日発表。 ※声符だけ。	Advance I とは逆のポジショ ンで、座る→伏せる→座る→立 つ→伏せる→立つ→座る ※始める順番は当日発表。 ※声符だけ。	他人がリードを持った状態で、 犬から飼い主が 5m 離れた場 所で、座る→伏せる→座る→立 つ→伏せる→立つ→座る ※始める順番は当日発表。 ※声符だけ。

⑤ 姿勢を維持させる（待て）

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
正面向かい合わせになり お座り：10 秒 伏せ：10 秒 立つ：10 秒待たせる。 ※コマンドは、声符、指符どれ でも良い。	正面向かい合わせになり お座り：30 秒 伏せ：30 秒 立つ：30 秒待たせる ※コマンドは、声符、指符どれ でも良い。	お座り、伏せ、立つ状態で、そ れぞれ 5m 離れて戻るまで待 っている。 ※向かい合った状態。 ※声符だけ。	「伏せ+マテ」でハンドラーが 姿を消して 1 分待っている。	伏せマテ。ハンドラーが姿を消 して 1 分。 犬が近くを通過したりなどの 誘惑、音などの刺激がある。

⑥ 待機させる

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
クレートの扉を開けた状態で、 飼い主の指示で入って、指示で 外に出す。 ※勝手に出てはいけない。	飼い主の指示でクレートに入 れ、扉を閉めて 30 秒間待機さ せる。その際、飼い主はクレ ートの横にいる。その後、扉を開 けて飼い主の指示で出させる。 ※勝手に出てはいけない。	クレートにコマンドで入り、2 分間静かにしている（飼い主は 1 分間ハウスのすぐ横に居る が、その後、その場を離れ、姿 を隠して 1 分間）	自分の試験以外はクレートの中 で静かに待つ。 椅子に座った飼い主の足元で 犬は伏せたまま、マットの上で 5 分間静かにする。	自分の試験以外はクレートの中 で静かに待つ。 足元のマットの上で待たせて お茶する。

⑦ 迷惑をかけずに歩かせる

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
<p>ジャッジが1分間、時間を図るので、その間、歩き回り、48秒以上（8割以上）引っ張らないで歩き続ける。</p>	<p>コート B 地点からコースを左回り（反時計回り）に2周歩く。歩行の最後には、ジャッジの指示でお座りをさせる。 ※声掛け、リカバリーコマンドは6回まで。 ※半時計回りでスタート。</p>	<p>リードをたるませたまま、指定のコースを2周歩く。最後は、ジャッジの指示に従って人も犬も止まり、ジャッジの指示でお座りをさせる。 ※1周目は左につけて、2周目は右につける。 ※声掛け、リカバリーコマンドは4回まで。 ※スタートのコマンド、周が変わる際のポジションチェンジはコマンドには含まない。 ※半時計回りでスタート。</p>	<p>リードをたるませたまま、指定のコースを2周歩く。最後は、ジャッジの指示に従って人も犬も止まり、ジャッジの指示でお座りをさせる。途中におやつ、おもちゃの誘惑があり、必ずコマンドで飼い主に注目させて回避する。 ※1周目は左につけて、2周目は右につける。 ※スタートのコマンド、周が変わる際のポジションチェンジ、誘惑を回避させるコマンドは含まれない。 ※声掛け、リカバリーコマンドは4回まで。 ※半時計回りでスタート。</p>	<p>試験会場によって歩行のコースを設け、より、日常生活に近い状況で審査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度変化 ・犬同士のすれ違い ・複数頭での散歩 ・公共の場での散歩のモラル ・リスクマネジメント <p>Etc</p>

⑧ 排泄をコントロールする

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
排泄の処理道具を持っているか、トイレ以外の場所でさせていないか確認する。	排泄の処理道具を持っているか、トイレ以外の場所でさせていないか確認する。	排泄の処理道具を持っているか？会場内でトイレ以外の場所でさせない。	排泄の処理道具を持っているか？会場内でトイレ以外の場所でさせない。	排泄の処理道具を持っているか？会場内でトイレ以外の場所でさせない。 (1日中、試験会場からは出ない)

⑨ 注目させる

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
<p>犬から4m離れた場所から、以下の誘惑物をみせて意識が逸れたら、自分に注目させなす。5回実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーの袋に手を入れてガサガサ音を立てる。 ・ おやつが入った袋を握って音を立てる。 ・ おもちゃを慣らす。 ・ テニスボール程度の大きさのボールで。 ・ ・フードボールにフードとおやつを入れて見せる。 	<p>犬から2m離れた場所から、以下の誘惑物をみせて意識が逸れたら、自分に注目させなす。5回実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーの袋に手を入れてガサガサ音を立てる。 ・ おやつが入った袋を握って音を立てる。 ・ おもちゃを慣らす。 ・ テニスボール程度の大きさのボールで。 ・ ・フードボールにフードとおやつを入れて見せる。 			

⑩ 人への「社会性」と「適切な振る舞い方」を身に着けさせる

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
<p>犬から 2m 離れた場所を、向かい側から飼い主以外の人走って通り過ぎる。</p>	<p>飼い主以外の人が見ながら、無言で犬の正面 1m 手前まで近づいて、立ち止まり、すぐに U ターンして立ち去る。</p>	<p>飼い主以外の人が見ながら、犬の正面 1m 手前まで犬に声をかけながら近づいてくる。その際、1m 手前まで飼い主以外の人に来たら犬を座らせて待たせる。吠える、追いかける、攻撃的になる、遊びを仕掛ける、逃げるなど過度に反応せず、犬は座って待っている。</p>	<p>犬から 2m 離れた場所を、向かい側から以下のどれかの刺激が通り過ぎる。その際に、吠える、追いかける、攻撃的になる、遊びを仕掛ける、逃げるなど過度に反応しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケートボードに乗った人。 ・ タイヤ付きキャリーバックを持った人。 ・ 自転車に乗った人。 ・ 台車を押した人。 ・ キックボードに乗った人。 ・ 杖をついて歩いている人。 ・ 傘をさしたひと。 ・ 車いすに乗った人。 ・ ベビーカーを押した人。 <p>※刺激は当日決定</p>	<p>試験中に人に吠えかかる、攻撃を示さない。</p>

⑪ 他の犬人への「社会性」と「適切な振る舞い方」を身に付けさせる

試験項目				
Basic I	Basic II	Advance I	Advance II	Master
<p>犬同士 2m の間隔をあけてすれ違う。犬はお互いどちらのポジションにつけてすれ違っても良い。</p>	<p>ジャッジが指定した場所に飼い主と犬が待機する。その後、飼い主と犬から 2m 離れた場所を、向かい側から他の犬とその飼い主が歩いて通り過ぎる。</p>	<p>・2組の飼い主と犬が、正面 1m 手前まで歩いて互いに近づいた後、ジャッジの指示で U ターンして立ち去る。その際、吠える、追いかける、攻撃的になる、遊びを仕掛ける、逃げるなど過度に反応しない。</p> <p>(犬同士の挨拶はさせない)</p>	<p>・2組の飼い主と犬が、正面 1m 手前まで歩いて互いに近づいた後、座るもしくは伏せさせて 1 分間待つ。そのあと、ジャッジの合図で、右前方に進んですれ違い立ち去る。その際、吠える、追いかける、攻撃的になる、遊びを仕掛ける、逃げるなど過度に反応しない。</p> <p>・すれ違う際のポジションチェンジは可。</p> <p>(犬同士の挨拶はさせない)</p>	<p>試験中に犬に吠えかかる、攻撃を示さない。</p>

・ MA では、スタッフがイベントとして刺激の提示をし、その際の反応を見る

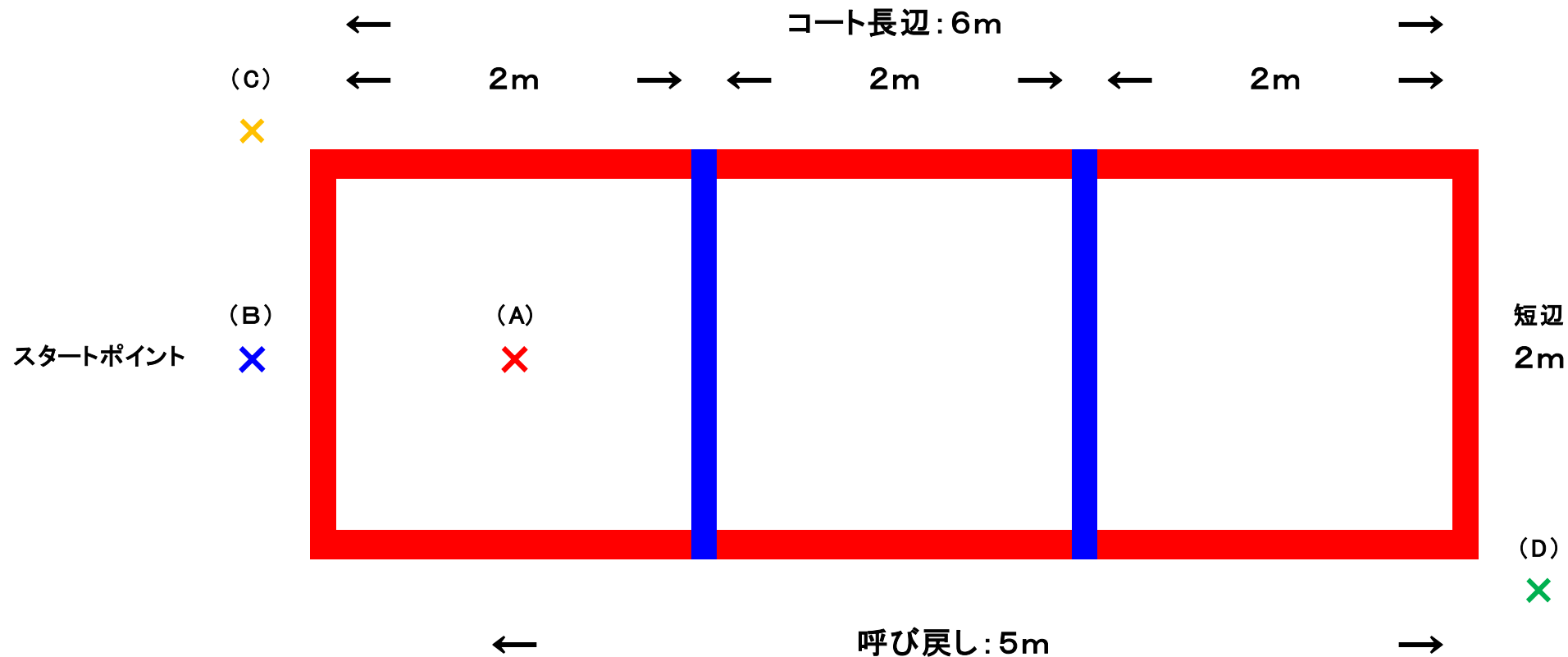
EX) 会場内を、制服をきたスタッフが掃除機で掃除し始める

ピエロが登場する

スケボーで遊び始める

入口に銅像がおいてある

ペットドッグパートナーズ試験 コースレイアウト



- (1) コートは、6m × 2mの大きさとする。テープやコーンで印をつける。
- (2) 長辺を2mずつ、3つに分ける。3つに分けた端のエリア中央部に呼び戻しの5mポイント(A)をつける。
- (3) 短辺の中央、やや外側にスタートポイント(B)をつける。